

レーザー白内障手術システム九州初導入

多焦点眼内レンズ手術は導入9カ月で200例以上

医療法人樹尚会 佐藤眼科・内科 佐藤 智樹 理事長に聞く



さとう ともき
大牟田市出身。1973(昭和48)年6月25日生まれ
の44歳。熊本大学医学部卒。98年4月熊本
大学眼科入局、99年熊本市市民病院眼科、2000
年出田眼科病院、02年熊本大学病院眼科医員、
同年天草中央総合病院院長、04年9月佐藤眼科
開業し院長に就任、06年9月医療法人樹尚会設
立。趣味はテニス

院長考案の緑内障手術、患者のQOL向上も

導入後9カ月で200例以上の多焦点眼内レンズ手術を行い、できたが、非常に高い精度で治療できるため、90%以上の患者様が非常に少ない誤差の範囲に収まり、メガネをほとんどかけない生活ができるようになりました。

「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術において、先進医療実施施設として厚生労働省から指定されています。佐藤「地域の皆様に最新・最善の医療を提供すること」を理念の一つとしており、11年に先進医療指定を受けました。しかしながら、十分に納め得る多焦点眼内レンズがなかった。

「多焦点眼内レンズ」は、多焦点眼内レンズを使用した白内障手術を行っており、メガネに頼らずに快適に暮らしたいと考える方が増えているようです。

2004年に開業し、眼科専門医5人と内科専門医1人の6人体制で、白内障手術をはじめ、緑内障、網膜硝子体、斜視弱視など幅広い眼科疾患に対応する医療法人樹尚会佐藤眼科・内科(荒尾市、佐藤智樹理事長・院長)。昨年夏、多焦点眼内レンズ「シンフォニー」の発売をきっかけに、より精度の高い手術を目指したレーザー白内障手術システムを九州初導入。導入後9カ月で200例以上の多焦点眼内レンズを使ったレーザー白内障手術を行っており、「今後も国内外問わず学会などで情報発信するとともに、さまざまな情報を取り入れ、高い水準の医療を地域の皆さまに提供していきたい」と抱負を語る佐藤理事長に同院の特徴などについて話を聞いた。(企画開発部・加藤小百合)

「幅広い眼科疾患に対応できるクリニック目指す」

2017年の手術実績は、
佐藤 主な手術は、白内障手術が1045例、緑内障手術が188例、硝子体手術が217例、眼瞼下垂(がんけんかすい)手術が95例で、手術件数は年々増加傾向にあります。昨年から斜視弱視の専門医が赴任しましたので、斜視弱視の手術も開始しました。今年からは最先端の角膜内皮移植手術を開始し、より幅広く眼科疾患に対応できるようにになりました。

当院は5人の眼科専門常勤医で診療しており、ほぼすべての分野において、高い水準の手術が行えるのが当院の特徴でもあります。

「院内には内科常勤医も在籍しています。その理由は、

「緑内障の治療および手術について。」
佐藤 わが国では40歳以上の20人に1人が緑内障に罹患しており、年齢と共にその割合は増えています。

緑内障の治療には点眼と手術の2つがあります。基本的には点眼を行います。点眼が必要な場合も、点眼の副作用が出ることも少なくありません。

当院では病型に応じてさまざまな種類の緑内障手術を約200例行っており、その中でも合併症が少なく手術効果が高い「スーチャートラベキュロトミー」眼内法を主に実施しております。この手術は私が考案した術式で、14年に日本眼科手術学会においてフィルムアワード銀賞を受賞しました。白内障手術と同時に10分ほど行うことができ、近年増えつつある低侵襲緑内障手術に分類されます。

これまで、日本での緑内障手術は失明を防止するために行うことが多かったのですが、当院では緑内障をお持ちの患者様に白内障手術を行う場合は、白内障手術と同時にこの緑内障手術を行っております。術後に眼圧が下がるため、緑内障が進行しにくくすることができ、また、術後に緑内障点眼を減らすこともできるので、点眼する手間やその副作用が減り、患者様のQOL(生活の質)を向上させることができます。学会や論文などで発表するにつれ、現在では全国の大学病院などにも普及しつつあり、九州圏内のみならず、関東からも当院の手術の見学にいらつやっています。

「今後の抱負は。」
佐藤 04年に開業して以来、「最新・最良の医療を地域の皆様へ提供する」「眼科医療を通じて地域貢献する」という基本理念に基づき、川路副院長とともに国内・海外での学会発表や論文発表など、積極的に情報を発信し続けてきました。来年には開業15年を迎えます。今後とも国内外問わず情報を発信し続けるとともに、さまざまな情報を取り入れ、私たち医師や看護師の知識や技術をより高いレベルに保ち、高い水準の医療を地域の皆様に提供していきたいと考えています。



▲2017年は白内障に加え、緑内障、硝子体、眼瞼下垂手術など計2395件の手術を行っている